

第4章 公的制度について

1 制度利用の有無と制度を利用していない理由

(1) 制度利用の有無と制度を利用していない理由―世帯類型（父子・母子世帯）別

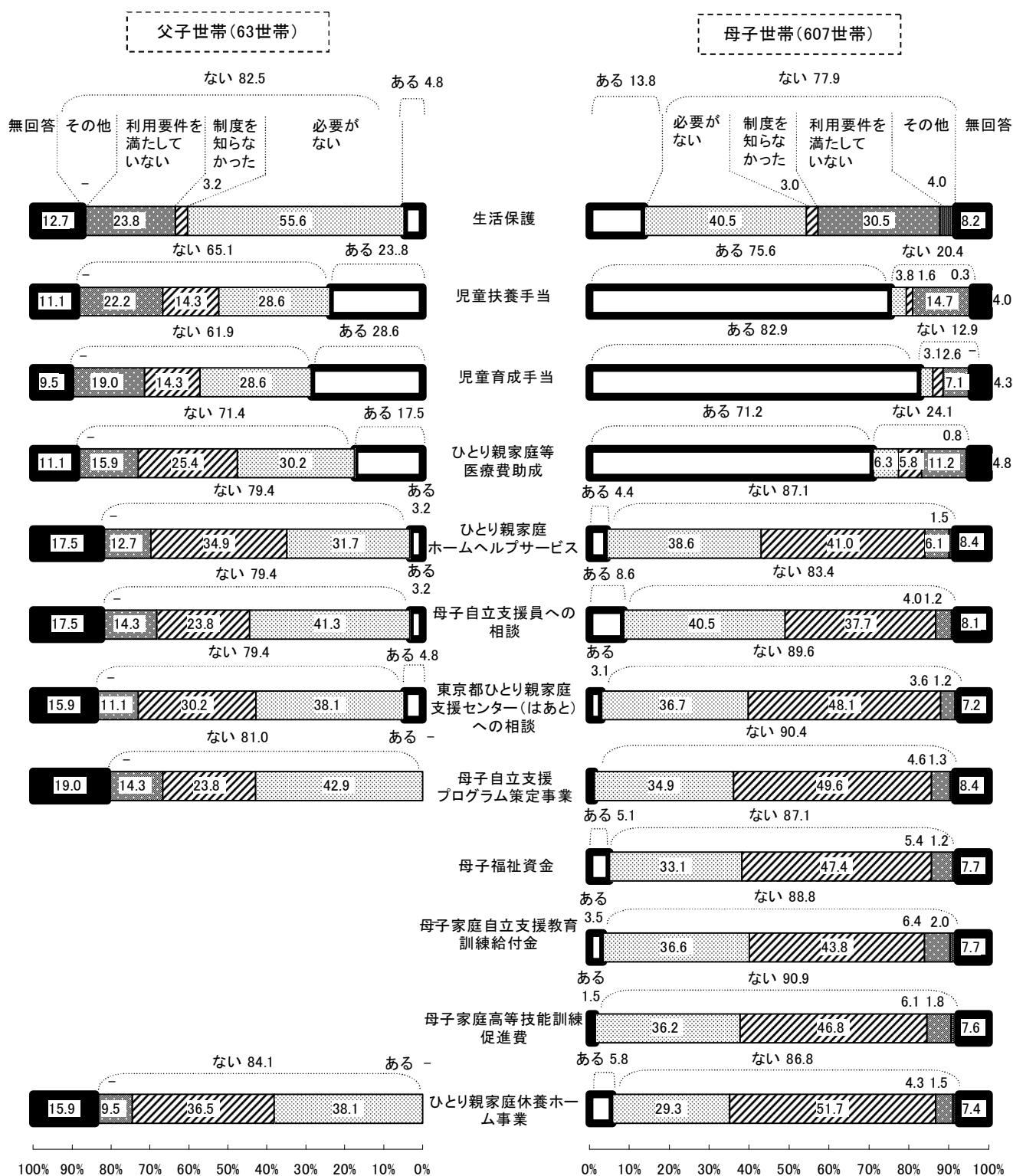
公的制度の利用の有無について聞いたところ、父子・母子世帯ともに、利用が「ある」割合は、「児童扶養手当」（父子 23.8%、母子 75.6%）、「児童育成手当」（父子 28.6%、母子 82.9%）「ひとり親家庭等医療費助成」（父子 17.5%、母子 71.2%）の3制度について高くなっている。

母子世帯では、「生活保護」「児童扶養手当」「児童育成手当」「ひとり親家庭等医療費助成」「母子自立支援員への相談」以外の制度については、「制度を知らなかった」の割合が最も高くなっている。（図Ⅱ-4-1）

問 あなたは次の公的制度を利用したことがありますか。

また、利用したことがない場合は、その理由もお答えください。

図Ⅱ-4-1 制度利用の有無と制度を利用していない理由―世帯類型（父子・母子世帯）別

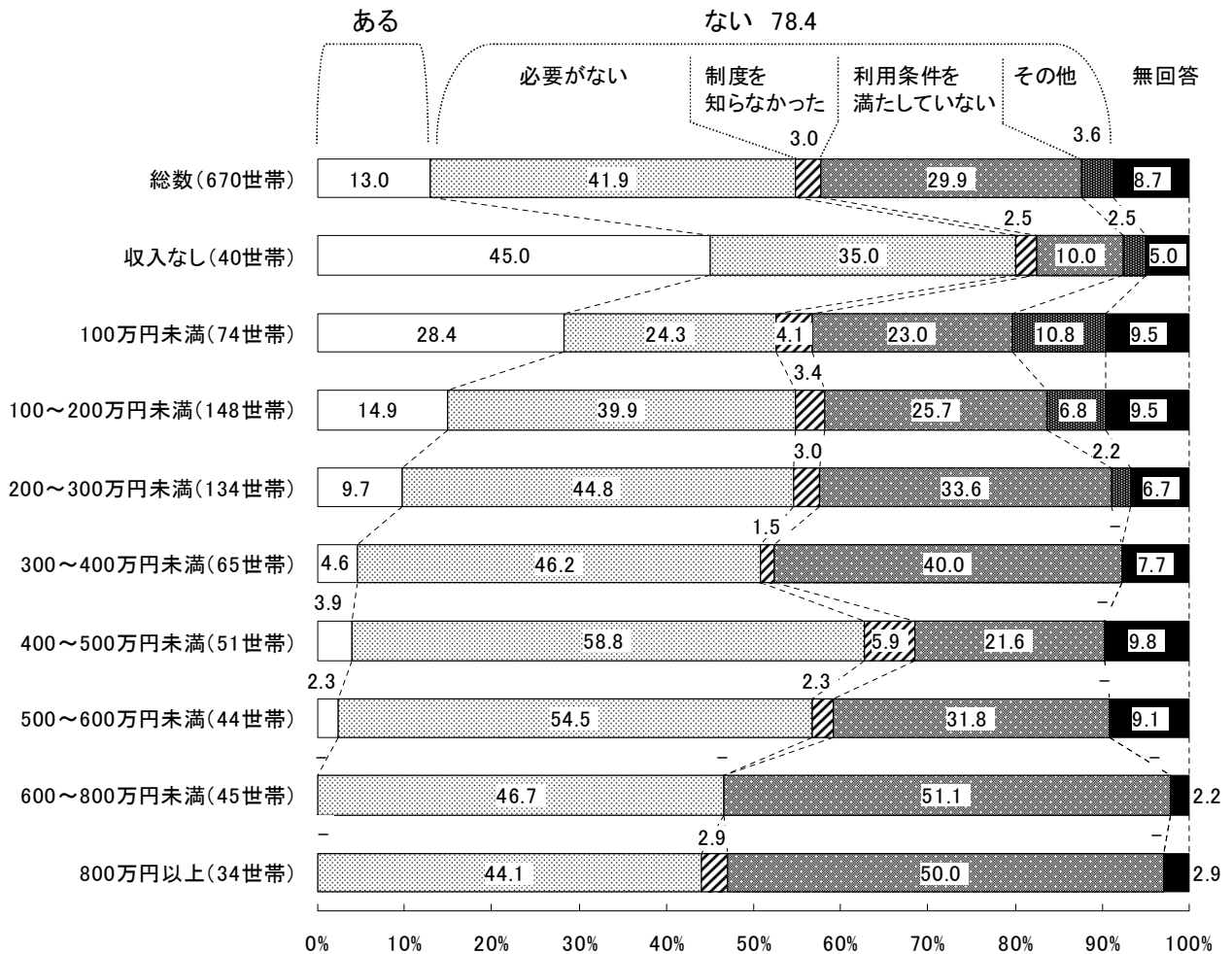


(注) 父子世帯の空欄部分は、原則として父子世帯では制度が利用できないもの。ただし、「母子家庭自立支援教育訓練給付金」及び「母子家庭高等技能訓練促進費」については、平成25年度より父子世帯も利用対象となった。

（２）制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由―世帯の年間収入別

公的制度の利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由を世帯の年間収入別にみると、生活保護を利用したことが「ある」割合は、100万円未満で28.4%、100～200万円未満で14.9%となっている。（図Ⅱ-4-2）

図Ⅱ-4-2 制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由―世帯の年間収入別



(3) 制度利用（生活保護）の有無－父母の年齢階級別

公的制度の利用（生活保護）の有無について父母の年齢階級別にみると、生活保護を利用したことが「ある」割合は、父子世帯では4.8%、母子世帯では13.8%となっている。（表Ⅱ-4-1、表Ⅱ-4-2）

表Ⅱ-4-1 制度利用（生活保護）の有無－父親の年齢階級別

	総 数	あ る	な い	無 回 答
総数	100.0 (63)	4.8	82.5	12.7
29歳以下	— —	—	—	—
30～39歳	100.0 (12)	8.3	75.0	16.7
40～49歳	100.0 (32)	6.3	84.4	9.4
50歳以上	100.0 (19)	—	84.2	15.8

表Ⅱ-4-2 制度利用（生活保護）の有無－母親の年齢階級別

	総 数	あ る	な い	無 回 答
総数	100.0 (607)	13.8	77.9	8.2
29歳以下	100.0 (35)	11.4	77.1	11.4
30～39歳	100.0 (184)	15.8	79.3	4.9
40～49歳	100.0 (322)	13.4	77.0	9.6
50歳以上	100.0 (66)	12.1	78.8	9.1

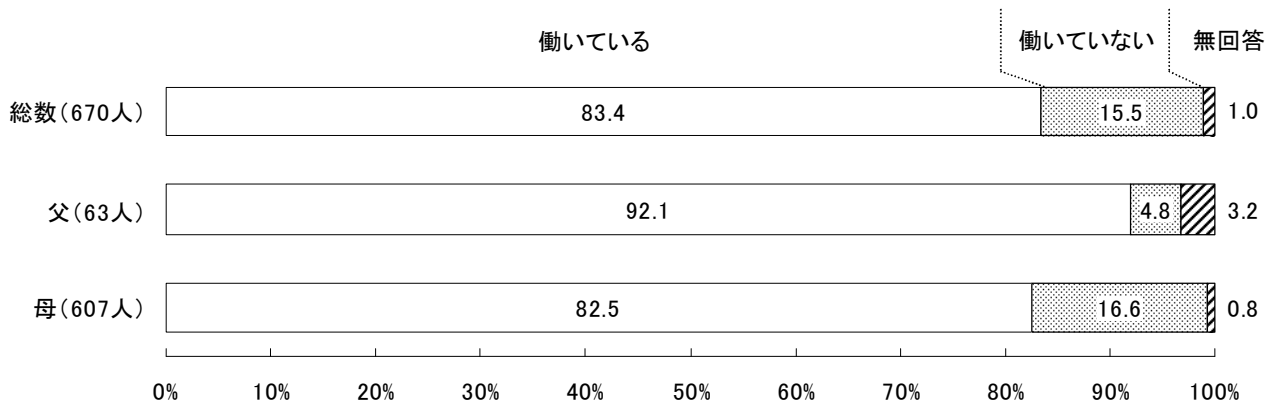
第5章 就労について

1 父母の就労状況

(1) 就労状況

就労状況をみると、調査基準日（平成 24 年 10 月 17 日）現在、「働いている」人の割合は、父親が 92.1%、母親が 82.5%となっている。（図Ⅱ-5-1）

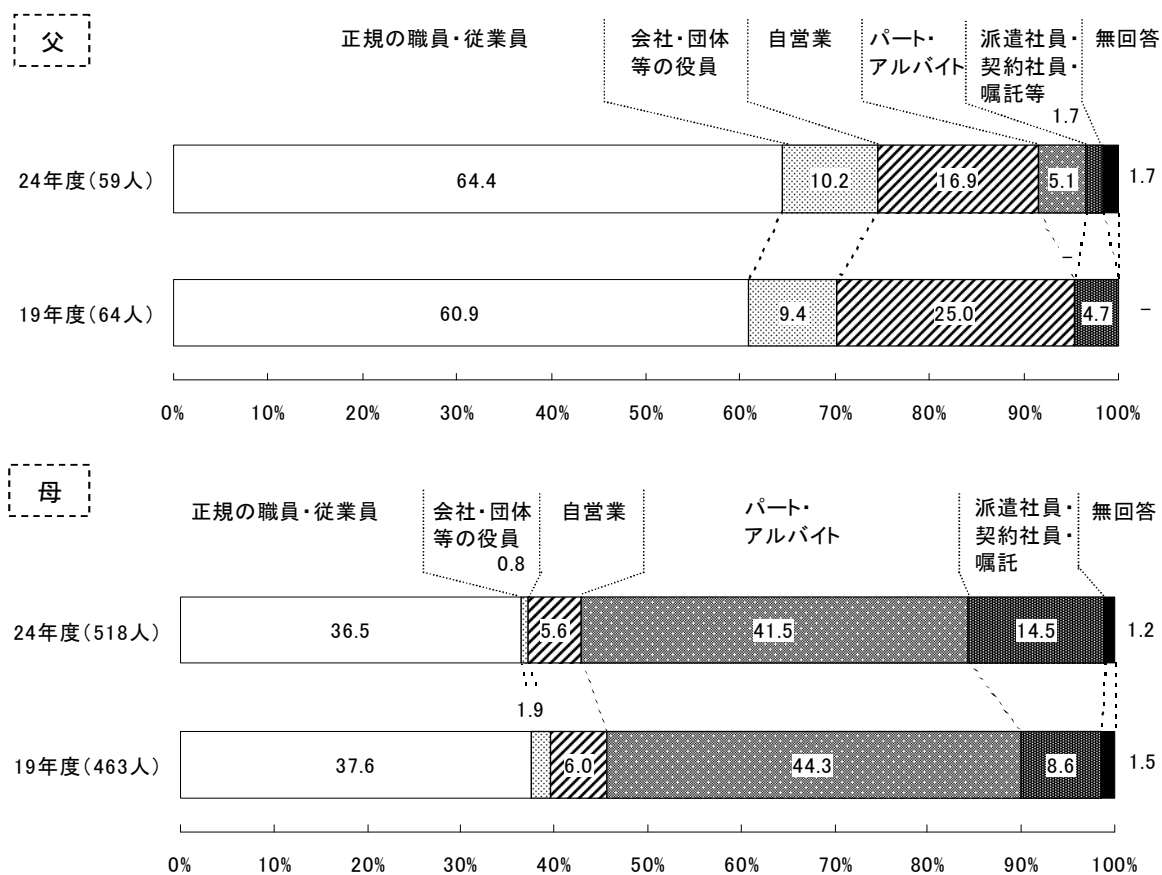
図Ⅱ-5-1 就労状況



(2) 従業上の地位－19 年度調査との比較

「働いている」と回答した父 59 人と母 518 人の従業上の地位をみると、父親は「正規の職員・従業員」の割合が 64.4%と最も高く、母親は「パート・アルバイト」が 41.5%と最も高くなっている。(図Ⅱ-5-2)

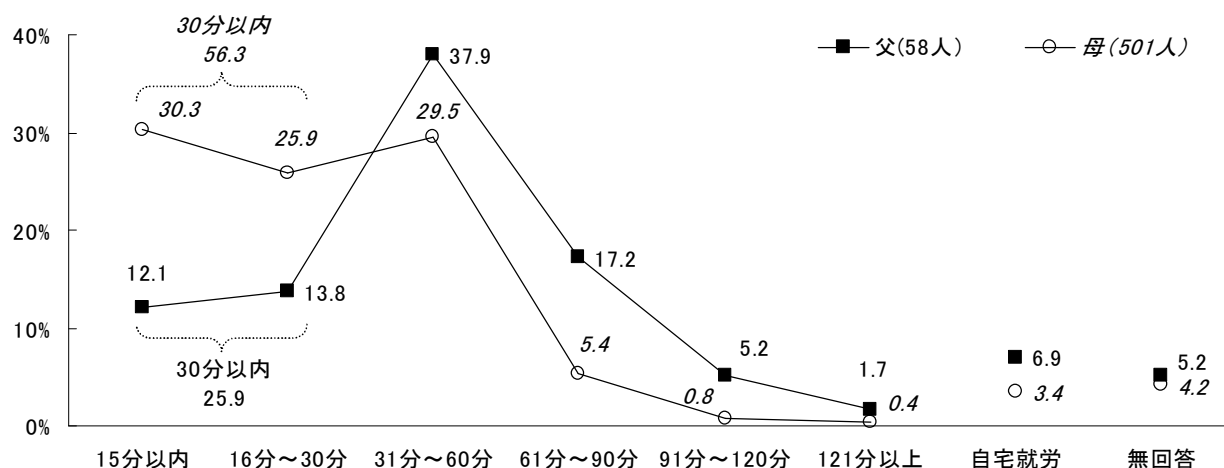
図Ⅱ-5-2 従業上の地位－19 年度調査との比較



(3) 通勤時間

現在仕事をしている父 58 人と母 501 人について、通勤時間をみると、父親は「31～60 分」の割合が 37.9%と最も高く、「30 分以内」の割合は 25.9%となっている。母親は「15 分以内」の割合が 30.3%と最も高く、「30 分以内」が 56.3%と 5 割を超えている。(図Ⅱ-5-3)

図Ⅱ-5-3 通勤時間

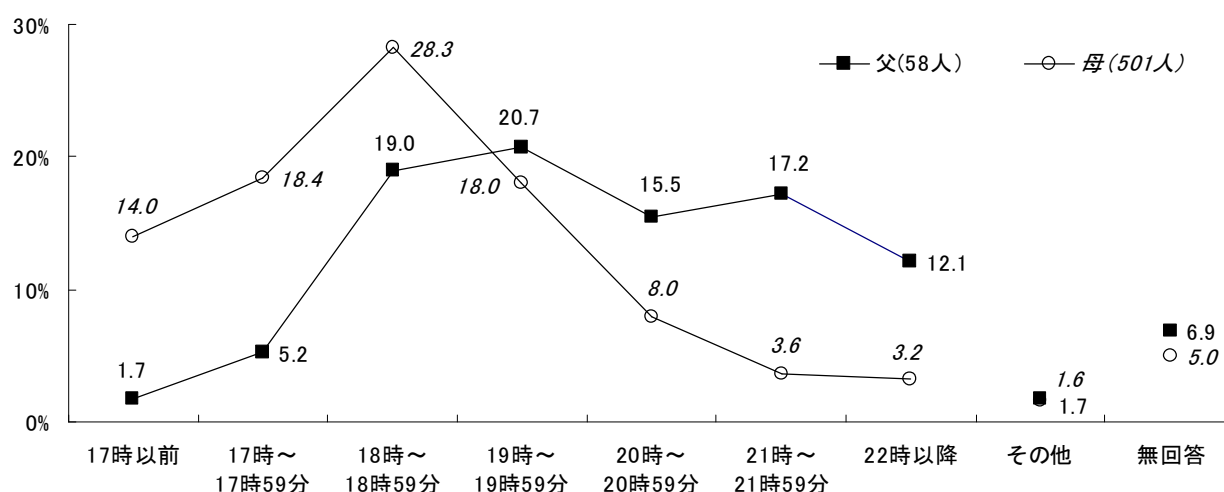


(注) 総数は、現在、働いていると答えた数で、職場に籍は置いているが、産休・育児休業中や病気等で休んでいる人は除く。

(4) 帰宅時間

帰宅時間をみると、父親は「19 時～19 時 59 分」の割合が 20.7%と最も高く、母親は「18 時～18 時 59 分」が 28.3%と最も高くなっている。(図Ⅱ-5-4)

図Ⅱ-5-4 帰宅時間



(注) 総数は、現在、働いていると答えた数で、職場に籍は置いているが、産休・育児休業中や病気等で休んでいる人は除く。

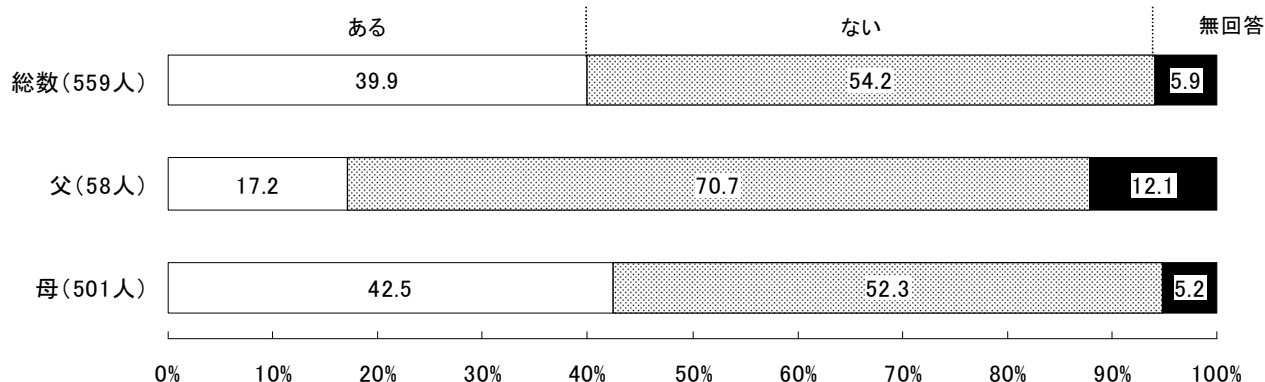
2 転職希望

(1) 転職の希望

現在仕事をしている 559 人に転職をしたいか聞いたところ、転職の希望が「ある」の割合が 39.9%と、約 4 割となっている。父母別にみると、「ある」の割合は、父親が 17.2%、母親が 42.5%となっている。(図Ⅱ-5-5)

問 あなたは、転職する希望がありますか。

図Ⅱ-5-5 転職の希望

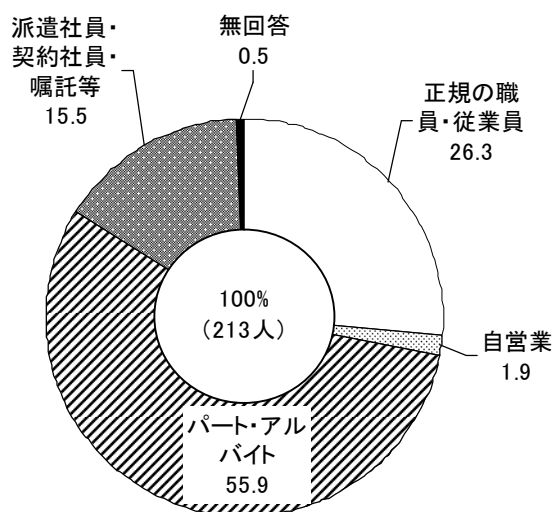


(注) 総数は、現在、働いていると答えた数で、職場に籍は置いているが、産休・育児休業中や病気等で休んでいる人は除く。

(2) 転職希望者—母親の従業上の地位別

転職の希望が「ある」と回答した母親 213 人について、従業上の地位別にみたところ、「パート・アルバイト」の割合が 55.9%と最も高くなっている。(図Ⅱ-5-6)

図Ⅱ-5-6 転職希望者—母親の従業上の地位別



(注) 父親は、転職希望者が 10 人のため省略した。

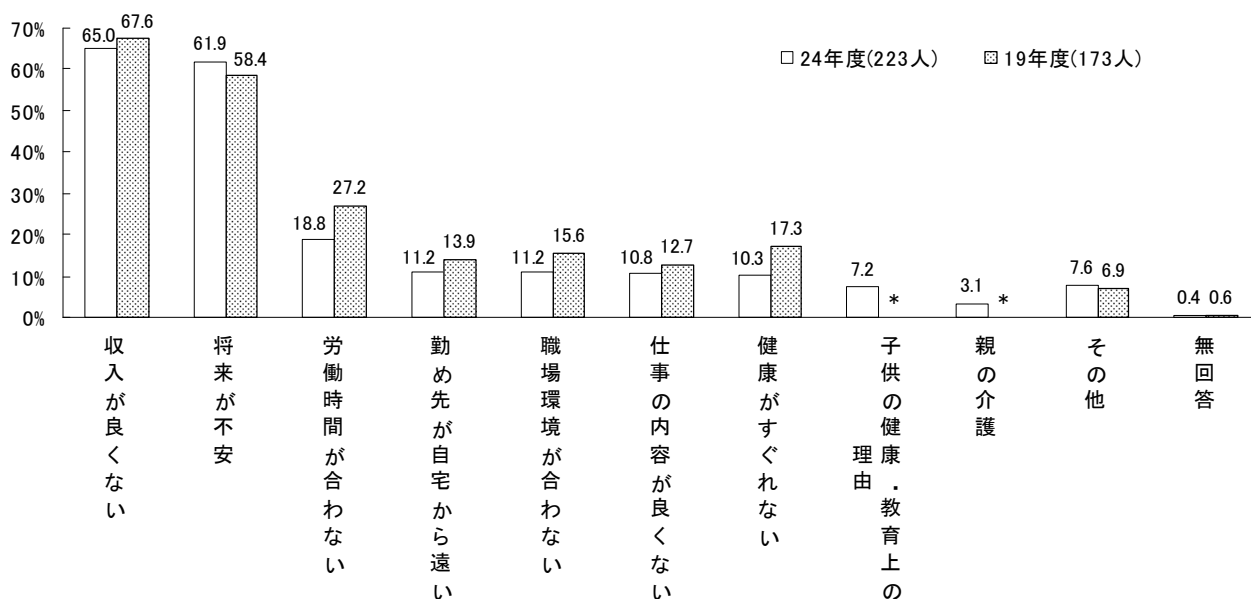
3 仕事を変えたい理由

(1) 仕事を変えたい理由〔複数回答〕－19年度調査との比較

転職の希望が「ある」と回答した 223 人に、仕事を変えたい理由を聞いたところ、「収入が良くない」の割合が最も高く 65.0%、次いで「将来が不安」の 61.9%で、それぞれ 6 割を超えている。(図Ⅱ-5-7)

問 仕事を変えたい理由は何ですか。

図Ⅱ-5-7 仕事を変えたい理由〔複数回答〕－19年度調査との比較



(注) * は 19 年度調査では、選択肢を設けていないため、データが存在しない。

(2) 仕事を变えたい理由〔複数回答〕－母親の従業上の地位別

仕事を变えたい理由を母親の従業上の地位別にみると、正規の職員・従業員とパート・アルバイトでは、「収入が良くない」の割合が最も高くなっている。(正規 64.3%、パート 70.6%)

派遣社員・契約社員・嘱託等では、「将来が不安」の割合が 63.6%と最も高くなっている。

(表Ⅱ-5-1)

表Ⅱ-5-1 仕事を变えたい理由〔複数回答〕－母親の従業上の地位別

	総 数	収 入 が 良 く な い	勤 め 先 が 自 宅 か ら 遠 い	健 康 が す ぐ れ な い	仕 事 の 内 容 が 良 く な い	職 場 環 境 が 合 わ な い	労 働 時 間 が 合 わ な い	将 来 が 不 安	理 由 子 供 の 健 康 ・ 教 育 上 の	親 の 介 護	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (213)	66.2	11.7	10.3	10.8	10.8	19.7	61.5	7.0	3.3	8.0	0.5
自営業	100.0 (4)	50.0	－	－	－	－	－	75.0	25.0	－	25.0	－
正規の職員・従業員	100.0 (56)	<u>64.3</u>	17.9	14.3	21.4	19.6	26.8	46.4	7.1	8.9	7.1	－
パート・アルバイト	100.0 (119)	<u>70.6</u>	6.7	10.9	6.7	8.4	17.6	67.2	5.9	0.8	6.7	0.8
派遣社員・契約社員・ 嘱託等	100.0 (33)	54.5	21.2	3.0	9.1	6.1	18.2	<u>63.6</u>	9.1	3.0	12.1	－

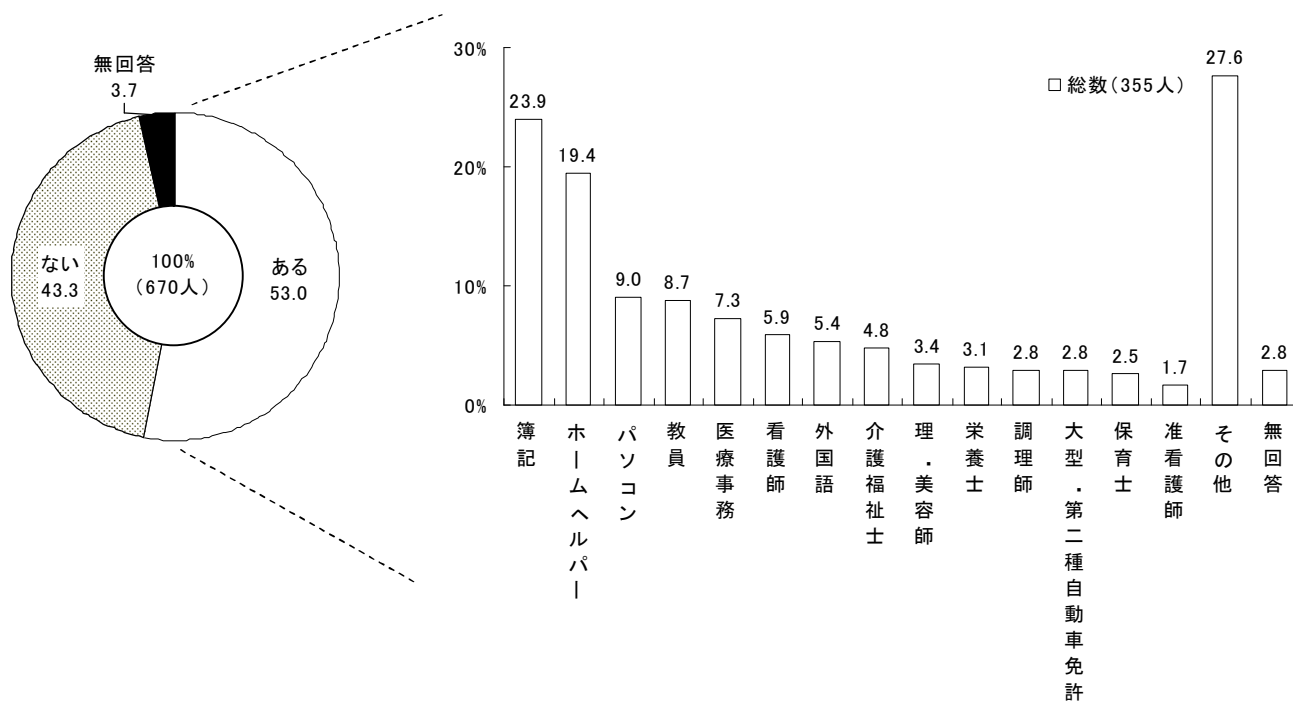
(注) 父親は、転職希望者が 10 人のため省略した。

4 資格の有無

(1) 資格の有無と種類〔複数回答〕

資格の有無を聞いたところ、「ある」の割合が 53.0%、「ない」の割合が 43.3%となっている。さらに、「ある」と回答した 355 人にその種類を聞いたところ、「その他」を除くと、「簿記」の割合が 23.9%で最も高く、次いで「ホームヘルパー」が 19.4%と続いている。(図Ⅱ-5-8)

図Ⅱ-5-8 資格の有無と種類〔複数回答〕



(2) 資格が仕事上役立っているか－資格の種類〔複数回答〕別

資格が「ある」と回答した 355 人に、資格が仕事上役立っているか聞いたところ、「役に立っている」割合は、52.1%となっている。(表Ⅱ-5-2)

表Ⅱ-5-2 資格が仕事上役立っているか－資格の種類〔複数回答〕別

	総 数	仕 事 上 役 に 立 っ て い る	仕 事 に 役 立 っ て い な い	無 回 答
総数	100.0 (355)	52.1	41.7	6.2
簿記	100.0 (85)	37.6	51.8	10.6
ホームヘルパー	100.0 (69)	44.9	46.4	8.7
教員	100.0 (31)	48.4	48.4	3.2
看護師	100.0 (21)	100.0	－	－
准看護師	100.0 (6)	83.3	－	16.7
調理師	100.0 (10)	50.0	50.0	－
理・美容師	100.0 (12)	50.0	50.0	－
パソコン	100.0 (32)	50.0	43.8	6.3
外国語	100.0 (19)	63.2	31.6	5.3
栄養士	100.0 (11)	45.5	54.5	－
介護福祉士	100.0 (17)	88.2	11.8	－
保育士	100.0 (9)	77.8	22.2	－
大型・第二種自動車免許	100.0 (10)	50.0	40.0	10.0
医療事務	100.0 (26)	38.5	42.3	19.2
その他	100.0 (98)	60.2	34.7	5.1

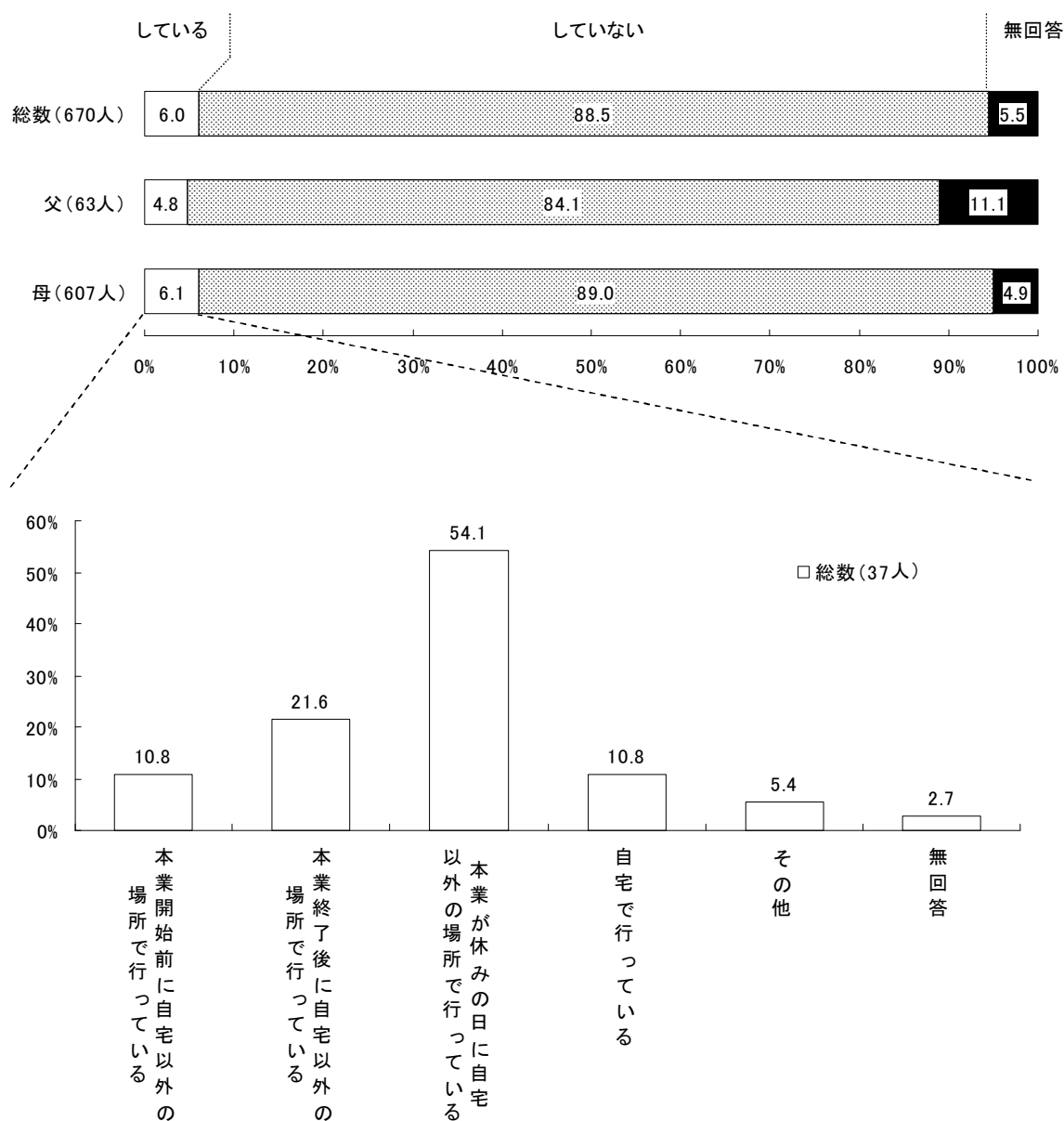
(注)「理学療法士」「作業療法士」「行政書士」は、該当なしのため省略した。

5 副業の有無と形態

(1) 副業の有無と形態〔複数回答〕

副業をしているか聞いたところ、「している」の割合が父子世帯は4.8%、母子世帯は6.1%となっている。さらに、副業をしていると回答した母子世帯37人に、どのような形態で行っているか聞いたところ、「本業が休みの日に自宅以外の場所で行っている」の割合が最も高く54.1%となっている。(図Ⅱ-5-9)

図Ⅱ-5-9 副業の有無と形態〔複数回答〕



(注) 父子世帯における副業の形態は、副業をしている人が3人のため省略した。